

令和3年2月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	令和3年2月5日(金) 午後2時～午後3時10分
場 所	Web会議
出席者	<p>【議長】 行田朝仁議員</p> <p>【議員：9名】 赤野たかし議員、内田みほこ議員、大貫憲夫議員、小島健一議員、田中ゆき議員、平田いくよ議員、藤崎浩太郎議員、山下正人議員、横山正人議員</p> <p>【説明局員：23名】 小澤区長、岡田副区長、勝島福祉保健センター長、吉田福祉保健センター担当部長、湊上青葉消防署長、ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>1 藤が丘駅前地区再整備基本計画の策定について (都市整備局市街地整備推進課 資料1)</p> <p>2 バス路線の維持・充実に向けた走行環境整備事業について (道路局企画課 資料2)</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症に係る青葉区の状況について (福祉保健課 資料3)</p> <p>4 令和3年度青葉区内における主な局予算事業について (区政推進課 資料4)</p>
報告事項1	藤が丘駅前地区再整備基本計画の策定について
発言の要旨	<p>山下議員 公園と病院を一体的に整備すると思うが、壁や植栽などの垣根がないような計画にしてほしい。柵を設けて区切るのが公園管理者(環境創造局)の考えだと思うが、どこからでも公園にアクセスできるような一体的な計画に近づけてほしい。</p> <p>佐久間都市整備局市街地整備推進課担当課長 公園と病院が一体となった計画とするため、病院敷地に市民緑地認定制度を活用する予定である。環境創造局とも調整して、一体的な利用ができるようにしていきたい。 また、公園の管理上、フェンスで囲うようにという指導があるが、一体的な活用ができるよう、環境創造局と手法等について協議を進めていきたい。</p> <p>藤崎議員 3月19日、20日に説明会を開催する予定とのことだが、2日間で良いのか。前回の意見募集では、意見が少なかった印象がある。その時は情報にたどり着けなかった人もいたのではないかと。 説明会の開催日程が限定的なため、曜日・時間・回数を工夫して、参加できる機会を増やすことを検討してほしい。地域の多くの方にとってもらうプロセスを設けることに配慮してほしい。</p>

佐久間都市整備局市街地整備推進課担当課長	3月開催はあくまでも予定である。説明会の回数等についてはこれまでも市民の方からもご意見をいただいております、ご説明の機会を増やしていきたいと考えているが、一方で新型コロナウイルス感染症の状況も考慮する必要があるため、動画配信等の手法も含めて対応していきたい。
藤崎議員	会場の定員も少なく、参加機会が限定的になってしまっている。多くの方が参加できるよう要望する。
内田議員	最近新型コロナウイルス感染症の影響で自治会等の集まりも実施されていないと思うが、この公園は夏祭りの会場にもなっており、周辺住民の意見は重要になる。 町内への周知方法はどうなっているのか。地元の声が重要であり、大切にしてほしい。
佐久間都市整備局市街地整備推進課担当課長	町内会等には適宜ご説明しているが、2月22日の青葉区連合自治会長会で、原案の案の説明会についてご説明する予定である。
内田議員	住民への説明はやはり自治会が核になってくると思う。特に藤が丘という立地上1丁目、2丁目の方々の声というのが一番重要になってくる。アンケート用紙を各戸のポストに入れる等、抜けがないように、自治会を大切にするようにお願いします。
大貫議員	病院のにぎわい交流施設にはどのような店舗が入るのか。歩いて楽しい、にぎわいのある街にしてほしい。
佐久間都市整備局市街地整備推進課担当課長	詳細はこれから決定していくもので、事業者側で検討中だが、物販施設やカフェ等、にぎわいを創出するような施設に入っていただく予定である。
大貫議員	市民の意見をどのようにとりまとめ、反映するのか。また、最終的な計画の公表時期と、実際に事業が完了する時期はいつ頃になるのか。
佐久間都市整備局市街地整備推進課担当	最終的な計画である再整備基本計画は、説明会等が順調に進めば、6月末頃には確定し公表できるのではないかと考えている。 事業の完了時期や事業者については検討中であるが、再整備基本計画

	<p>課長 の策定後に都市計画の手続きに入ることになり、都市計画審議会への諮問は最速で令和4年11月を予定している。 そこから事業に着手することになるが、工事期間は短くても3年から4年程度はかかると思われる。</p> <p>赤野議員 再整備のイメージや、病院と公園の配置が変わることは理解した。交通処理や歩行者の安全性に配慮してほしい。 にぎわいがあることは重要だが藤が丘の駅前には少し駐車台数が少ないというイメージがある。駅前の駐車台数が増えるのか。</p> <p>佐久間都市整備局市街地整備推進課担当課長 駐車場については、現在の病院の駐車場と同等の300台分程度を設ける予定であり、条例で定められた設置基準を満たしている。</p> <p>赤野議員 300台というのは病院用を含めての台数だと思うので、にぎわい施設を訪れる人の数も考慮した上でよく検討してほしい。</p> <p>田中議員 病院と公園の間に健康増進施設を設置するとあるが、すぐそばの公園の中では喫煙できるようになるのか。</p> <p>佐久間都市整備局市街地整備推進課担当課長 公園の位置、規模等については現在協議中だが、喫煙の禁止など運用面についてはまだそういった段階に至っていない。 今後、受動喫煙の防止についても配慮し、こういった手法がとれるか関係部署にもお伝えしていく。</p>
<p>報告事項2 バス路線の維持・充実に向けた走行環境整備事業について</p>	
<p>発言の要旨</p>	<p>大貫議員 路線の廃止や大幅な減便により日常生活の移動に支障が生じることが危惧されるという課題認識は私も一致している。 この課題を解決していく上で、フィーダー路線というものが必要になってくるということだが、フィーダー路線の考え方についてももう少し説明してほしい。</p> <p>勝俣道路局企画課担当課長 現状では青葉台駅からいくつかの長い路線が伸びているが、これを例えば青葉台駅から日体大のところまでを基幹路線とし、そこに乗り継ぎ拠点を作ってそこから各方面に短い路線を作ることにより、各路線では距離が短くなった分、バスの運行頻度を上げることができる。 また、運行頻度が上がれば一台あたりの乗車人数が少なくなるのでバ</p>

	<p>スのサイズを小型化でき、狭い道にも入れる場合が出てくる。</p> <p>このように、乗務員の確保が難しくなる中で、短い路線で効率よく運行することで、利用者の乗車機会を維持しようというのが、フィーダー路線の考え方である。</p> <p>大貫議員 乗り継ぎ拠点で乗り換えるとなると、たとえば奈良北地区の人が青葉台駅に来るときに440円かかることになる。そうすると、利用者としてはマイナスだと思うがどう考えているか。</p> <p>勝俣道路局企画課担当課長 一般論として、これまでの倍の料金になってしまえば当然抵抗感が出てくると思う。そこでたとえば現状の料金とほぼ遜色ない料金設定をしたり、料金設定は若干上がるかもしれないが別な形で利用者に還元したり、運賃体系の工夫は何かしら考えていかなければいけないと思っている。</p> <p>横山議員 乗務員の不足や利用者の減少など、社会的な背景を考えれば、フィーダー路線やハブ・アンド・スポークといった発想を始め、いわゆる交通体系をどうするかというのは当然出てくる話である。しかし同時に、乗り継ぎ運賃の創設と抱き合わせで考えないと事業が円滑に進まないと考える。</p> <p>今後、市営地下鉄3号線が延伸され、いわゆる縦軸が一つ増える。その縦軸につなぐ横軸を作ることで区内移動の選択肢も広がる。</p> <p>バスーバスだけではなくて、バスー地下鉄も含めて、総合的に運賃体系を考えていく必要があると思うので、よろしくお願いいたします。</p> <p>勝俣道路局企画課担当課長 より使いやすい交通体系にしていくために、シームレスな乗り継ぎについて、交通事業者と議論を重ね検討していきたい。</p>
--	--

報告事項3 新型コロナウイルス感染症に係る青葉区の状況について

発言の要旨	大貫議員 患者で自宅待機されている方は、青葉区でどれくらいいるのか。
	<p>滝本福祉保健課長 市全体では自宅待機の方が約7割以上で、青葉区もおおよそ同じ状況である。</p> <p>医療機関から区役所に患者発生届が提出されると、区役所から神奈川県に発生届とヒアリング結果を送り、自宅待機となった方には県が毎日コンタクトを取る仕組みになっている。</p>
	大貫議員 病院に入れないという理由で自宅待機となる方が多いと言われてい

	<p>るが、青葉区ではそうした実態はないのか。</p>
滝本福祉保健課長	<p>現在青葉区では入院の待機の方はほとんどいない。</p>
横山議員	<p>これから課題となるのはワクチン接種だが、実施に向けた対応について説明してほしい。</p>
守屋総務課長	<p>健康福祉局で検討が進んでおり、高齢者の接種会場として公会堂やスポーツセンターを使いたいという打診が各区に来ており、青葉区でも調整を進めているところである。</p>
横山議員	<p>全体の調整は健康福祉局で行うことになるとしても、実際の現場は区役所が対応することになる。青葉区がどういう態勢で実施するのかというのは、やはり市民の関心事であり、情報発信はしっかりとスピーディーに確実にやっていただきたい。</p> <p>現場対応は市が行うのか。それとも、各区で行うのか。</p>
守屋総務課長	<p>現在までのところ、区は会場提供の依頼を受けているところであり、接種の実施にあたって区役所で人員体制を組むという話は来ていない。</p>
横山議員	<p>実際の接種にあたっては医師会の先生方に従事をお願いしなくてはならないと思うが、青葉区医師会と区役所では今どういうやり取りをしているのか。</p>
勝島福祉保健センター長	<p>青葉区医師会長とは随時お話ししているが、市の医師会からまだ情報が入ってきていないと伺っている。</p>
横山議員	<p>接種に協力していただけるかの意向確認をするという話も聞くのだが、それもまだ実施されていないのか。</p>
勝島福祉保健センター長	<p>区医師会として全面的にご協力いただけると伺っている。具体的な実施体制が決まり次第、区医師会とご相談することになると考えている。</p>
横山議員	<p>これからワクチン接種が大きな話題になると思うが、テレビなどのマスメディアの情報が先行してしまっており、何が正しくて何が間違っているのか市民がはっきり分からない、あるいは、間違った情報に右往左往しかねない危惧がある。</p>

		したがって、横浜市や青葉区が正しい情報を的確に正確に発信することが大切であり、青葉区もしっかりと対応するようお願いしたい。
報告事項 4	令和3年度青葉区内における主な局予算事業について	
発言の要旨	横山議長	資料4の1ページにある「市民利用施設等の特定天井脱落対策・体育室空調機設置」に関して、大場みすずが丘地区センターの修理の内容はどういったものか。また、修理は来年度には完了するのか。
	鈴木地域振興課長	大場みすずが丘地区センターについては、暖房の工事はすでに終わっており、今後、つり天井の脱落防止工事を行う予定である。 東日本大震災後、大規模空間の天井脱落防止工事が進められてきたが、令和3年度は青葉スポーツセンターと公会堂で対策工事を実施することになっている。これに合わせて大場みすずが丘地区センターの体育室の天井についても工事を行うことになった。
	横山議員	資料4の4ページにある「公園整備事業（新設整備事業）」に関して、谷本公園の整備の来年度の進捗をどのように見込んでいるか。
	續橋区政推進課担当課長	土地取得契約が残っている0.77ヘクタールの土地についても早期に契約締結できるよう、環境創造局と連携して粘り強く交渉を進めていきたいと考えている。
	横山議員	農業に対して様々な意見をお持ちの方がいらっしゃるため、用地取得は簡単には進まないのではないかと思うが、契約締結に向けて工夫の余地はあるか。
	續橋区政推進課担当課長	以前、借地ではどうかというご意見も伺ったが、谷本公園は事業認可を受けて事業を進めていることから、まずは土地を買い取らせていただけるよう交渉に臨みたいとの意向を環境創造局から聞いている。 現時点では、粘り強く交渉していくしかないと考えている。
	横山議員	資料4の8ページにある「小・中学校施設の建替事業」に関して、榎が丘小学校とつつじが丘小学校については、森林環境譲与税を使って木質化を推進するという認識でよいか。
	中川区政推進課長	両校については、関係の自治会長、連合町内会長、PTA会長等のみなさんに入っていたいただいた検討会等の場で、建替プランの検討をいただいたところである。

	<p>これから実施設計等に入っていく中で、木質化についても検討されていくものと承知している。</p>
横山議員	<p>学校の建替にあたって木質化を推進するのは横浜市の基本的な方針であり、両校についてもその方向に進んでいくものと理解している。</p> <p>それを踏まえ、木に対しての理解が深まるような教育活動も考える必要があると思っている。資源の循環や水源地の問題、気候変動の問題等、木に関わる課題を授業の中で取り入れていただけるよう、教育委員会とも協力しながら考えてほしい。</p>
大貫議員	<p>資料4の1ページにある「区庁舎設備等改修事業」に関して、大規模な風水害時における電源保全と書いてあるが、予算は500万円とあるがこれは区庁舎だけの分か。</p>
岡田副区長	<p>500万円は区庁舎の改修のみの予算であり、令和3年度は基本設計を予定している。電気室は地下階にあるため、水が地下に入ってきてても設備が浸水せず電気が区庁舎に供給されるようにするための改修である。</p>
大貫議員	<p>川沿いにある消防署や土木事務所でも同じような状況があると思うが、その対策はどうなっているのか。</p>
岡田副区長	<p>来年度予算には反映されていないが、青葉区としては青葉土木事務所と青葉消防署についても対策が必要と考えている。</p>
大貫議員	<p>資料4の2ページにある「郊外部における働く場所の創出事業」に関して、これは青葉台郵便局プロジェクトのことだと思うが、プロジェクトにおける東急電鉄・横浜市・青葉区の関係はどうなっているのか。</p> <p>単なる貸しオフィスのようなものを作るといふことなのか、あるいは区として区全体を考えてここにはこういうオフィスに入ってもらいたい、といった区の意味が入る余地はあるのか。</p>
續橋区政推進課担当課長	<p>次世代郊外のまちづくりという位置づけの中で、東急、日本郵便、建築局住宅再生課の3者で協働して行っている事業である。</p> <p>区としては、郊外部に働く場が必要という考えから、経済局に対して補助制度の導入を要望してきた。そうした区の後押しもあり、今回働く場づくりという形で施設ができたと考えている。</p>
大貫議員	<p>大変良いプロジェクトだと思う。単に貸しオフィスを設けるというこ</p>

	<p>しかし実際は、お住まいの外国人の方が、こういった仕組みにリーチできていないような現状もあると聞いている。</p> <p>区内在住の外国人の方に対してどういった支援がなされているのか確認したい。</p>
鈴木地域振興課長	<p>国際交流ラウンジでは日本語教室を始め、様々な相談対応を行っている。お困りごとがある場合は、まず国際交流ラウンジにお声がけいただければと考えている。</p>
田中議員	<p>国際交流ラウンジに相談できることすら知らない方がいらっしゃるようだが、区役所等でラウンジに関するパンフレットを配布したり、外国人の方が困って区役所に来た場合やお問い合わせがあった場合に、国際交流ラウンジ等にたどり着ける手段はあるのか。</p>
鈴木地域振興課長	<p>区役所の地域振興課にお問い合わせいただければ、ご相談の内容を伺った上で国際交流ラウンジにおつなぎすることができる。</p>
赤野議員	<p>すすき野小学校について、閉校後の活用方法の計画とスケジュールが決まっていれば教えてほしい。</p>
續橋区政推進課担当課長	<p>閉校後の活用方法については、地元の皆様方からご意見を承っており、そのご意見に基づいて具体的にどういった活用ができるか、教育委員会事務局と調整をしているところである。</p> <p>スケジュールに関しては、コロナ禍で地元の方の会合もなかなか開けないこともあり、未確定である。</p>
赤野議員	<p>進捗状況については引き続き情報提供をお願いしたい。</p>